

RYOWA

空気と水のテクノロジー | 株主通信Vol.28 第65期 業績のご報告
平成25年4月1日～平成26年3月31日

REPORT



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、テクノ菱和グループは、第65期(平成25年4月1日から平成26年3月31日)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長

阿部 捷司

Q 当期の建設業界を取り巻く環境は
いかがでしたか？

A 当期の国内経済は、政府や日銀による各種経済対策や金融緩和策などへの期待感から円安・株高が進行し、企業の生産活動が持ち直してきたほか、年度末には消費税率引き上げ前の駆け込み需要もあり、総じて緩やかな回復傾向が続きました。

建設業界におきましては、補正予算の影響で公共投資は増加し、設備投資もここにきてやや増加に転じるなど、明るい兆しも見え始めてまいりました。

Q 当期の業績はいかがでしたか？

A 当期は、業績の回復というキーワードのもと、部門別の予算管理を徹底するとともに、調達本部を中心とした集中購買の推進、原価低減および不採算案件の排除などの施策を推し進めるとともに、既存設備の改修需要を確実に取り込むための組織体制を構築すべく、環境ソリューション事業部を発足させるなど、市場や外部環境の急激な変化に対応するとともに、採算性の改善と収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、設備投資の持ち直しや公共投資の増加を受けて、売上高は増加し、工事原価管理の徹底により不採算工事が減少したことや全社的な経費削減への取り組みなどが功を奏し、利益は、前期実績を大幅に上回る結果となりました。

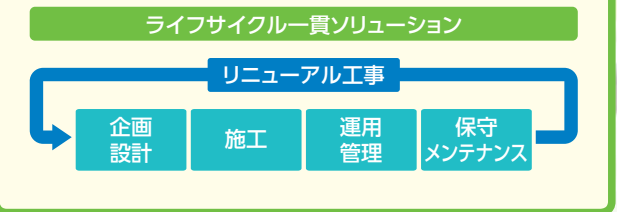
	当期 (百万円)	前期 (百万円)
受注高	55,414	48,180
売上高	49,108	46,719
営業利益	1,342	183
経常利益	1,507	376
当期純利益	662	162

Q 来期の方針を教えてください。

A 当期は、業績の回復を達成することができましたが、今後につきましても、増加の兆しが見えてきた需要を確実に取り込み、利益を伴う持続的な成長を目指してまいります。そのためには、現状の業務内容に加えて、さまざまな分野で新しいことに挑戦していかなければなりません。そこで、来期のキーワードとして、「チャレンジ」を掲げました。具体的には、ライフサイクル一貫ソリューションビジネス体制を推進し、積極的な提案営業とお客様へのきめ細かなサービスの提供により、受注の拡大を目指してまいります。また、先端医療や航空宇宙産業分野など、今後の拡大が期待される分野への営業活動を強化し、新たな需要を開拓してまいります。さらに、業界全体で技能労働者や技術者が不足するなかで、人事制度や教育体制の見直しを図り、施工能力の増強に努めてまいります。

ライフサイクル一貫ソリューション

ライフサイクル一貫ソリューションとは、設備のライフサイクルを総合的にマネジメントするなかで、企画・設計から保守・メンテナンスまで一貫したサポートを行うことをいいます。また、設備のリニューアル時には、このライフサイクル一貫ソリューションによる運用実績に基づいて、お客様にとって最適な計画を提案するなど、お客様の設備を将来にわたって支援してまいります。



Q 来期の見通しを教えてください。

A 来期の経済状況は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減が一時的に景気を下押しするものと予想されますが、政府による追加の経済対策や米国など堅調な海外景気を背景とする輸出の増加などにより、企業業績の回復基調は維持されるものと予想されます。建設業界におきましては、公共投資は伸び率が鈍化するものの底堅く推移することが見込まれ、設備投資も企業業績の回復に伴って緩やかな回

復が継続するものと思われます。しかしながら、建設資材の高騰、作業員不足による労務費の高止まりや工事進捗の遅延など多くのリスクを抱えており、なお予算を許さない状況が続くものと考えられます。

来期の連結業績見通しにつきましては、売上高は、手持ち工事の増加や堅調な受注により大幅に増加する見込みですが、利益は、建設資材の高騰などにより、当期と比較して小幅な増加にとどまる見込みです。

	来期予想 (百万円)
受注高	56,000
売上高	54,000
営業利益	1,430
経常利益	1,560
当期純利益	800

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 当社グループは、「コンプライアンスの徹底、安全・品質の確保、利益の確保」の三位一体の事業基盤強化の基本に立ち、CSRを重視した経営を実践することで、利益を伴う持続的な成長を目指してまいります。

当期の期末配当金につきましては、前期と同額の1株につき6円とし、年間では1株につき12円とさせていただきます。また、来期の配当金につきましては、今後の事業展開や業績見込み等を勘案いたしました結果、年間で当期より1円増配となる1株につき13円とさせていただきます。また、来期の配当金につきましては、今後の事業展開や業績見込み等を勘案いたしました結果、年間で当期より1円増配となる1株につき13円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

大型技術展示会に出展いたします。

本年7月に東京ビッグサイトで開催される予定の大型技術展示会「インターフェックスジャパン」に当社専用ブースを出展し、開発製品の展示、説明を行います。今後も、当社の事業を多くの方に知っていただけるように広報活動を行ってまいります。

展示会名称	第27回インターフェックスジャパン
展示会テーマ	医薬品/化粧品/洗剤 研究開発・製造技術国際展
会期	平成26年7月2日(水)～平成26年7月4日(金)



(出展ブースイメージ)

施工実績 | CONSTRUCTION RESULTS

ヤマハ発動機株式会社 27号館



本物件は、輸送機器の開発、設計、製造および販売ならびに人事・経理等の事務業務を行う施設で、既存設備の再利用を前提に計画・施工されました。複数の事業部が利用しているため、用途に合わせた空調・換気設備(局所排気)が備えられており、空調方式には「マルチパッケージ+既存ルーフトップエアコン」が採用されています。

概要	
竣工年月	2014年1月
施工地	静岡県磐田市
建物用途	生産工場
延床面積	57,412.12㎡
物件形態	地上3階
工事範囲	空調設備工事



スリーボンドワークス株式会社 岡崎工場・物流センター



本物件は、生産工場棟・サポート倉庫棟・危険物倉庫1、2・廃棄物置場棟の5つの建物で構成され、物流施設も兼ね備えた施設となっております。ネジにゆるみ止め効果などを付与する「プレコート加工」が行われる生産工場棟内では、有機溶剤が使用されているため防爆仕様となっており、「モジュールチラー+外調機方式」が採用されています。

概要	
竣工年月	2014年3月
施工地	愛知県岡崎市
建物用途	生産・物流施設
延床面積	5,273.52㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調設備工事



一般社団法人日本海事検定協会 新分析センター



本物件は、お客様の創立100周年記念事業の一環として建設された理化学・食品衛生分析センターです。実験室内のドラフトチャンバー等の局所排気を高速VAVで制御することにより、室圧・給排気バランスを継続的に保ち、実験環境を保護しています。また、人感センサーを用いた風量の最適制御により省エネを実現しています。

概要	
竣工年月	2014年1月
施工地	神奈川県横浜市
建物用途	理化学・食品衛生分析センター
延床面積	6,115.00㎡
物件形態	地上6階
工事範囲	空調・換気・自動制御設備工事



東洋科学株式会社 阿見事業所



本物件は、阿見東部工業団地内に建設された食品用プラスチック容器生産工場です。同施設では、衛生面に配慮し、高洗浄度に保たれた製造環境が構築されています。施主、エンジニアリング会社および他の工事会社と緊密に連携を図り、短工期での完成に至りました。

概要	
竣工年月	2013年10月
施工地	茨城県稲敷郡阿見町
建物用途	食品容器製造施設
延床面積	3,877.61㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生設備工事



テクノ菱和の技術の紹介

Vol.06

クリーンな空間、省エネルギーなどの環境問題、きれいな水づくり…

テクノ菱和の技術はあらゆる所で活躍しています。

そんな「環境のトータルエンジニアリング企業」である

私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。

Check!



コスト削減とCO₂排出量の削減に貢献

省エネルギー関連技術

☆どうして省エネルギー関連技術が必要なの？

1973年の石油危機を契機として発達した省エネルギー関連技術は、限られたエネルギーを有効利用することやコストの削減を主な目的としておりました。原子力発電所の稼働停止が続く現在においても、電力供給量不足や電力料金の値上げなどが続き、エネルギーの有効利用とコストの削減は、企業はもちろんのこと、家庭においても重要なテーマとなっています。

また、二酸化炭素(CO₂)濃度の増加による地球温暖化問題は、国際会議でCO₂等の温室効果ガス排出量の大幅な削減が目標として定められており、エネルギー消費と密接に結びついたCO₂の排出量削減も社会的な要請事項となっています。

☆どんな方法・技術があるの？

省エネルギー化を図るには、廃熱利用、搬送動力の削減、排気量の削減、自然エネルギーの利用および機器の高効率化などさまざまな方法があります。当社では、外気を処理する空調機に低温排熱を利用して精密な気化式加湿ができる「ECOWET」をはじめ、ローター型除湿機の加熱エネルギーを削減する超低湿度システム「RECODRYII」などの省エネルギー技術を有しているほか、エネルギー使用量を「見える化」するサービス「R-Second Sight」や設備の運用状況を解析し、最適な運用方法・システムなどをお客様にご提案する運用支援サービス「smartSOLAVICE」などを提供しております。

当社は、環境制御エンジニアリング会社として設備の設計、施工、運用、保守・メンテナンス、改修などさまざまな段階で、最適な省エネルギー化の方法をご提案し、お客様の省エネ・コスト削減に貢献いたします。

当社の主な省エネルギー関連技術一覧

技術・サービス名	概要	技術・サービス名	概要
ECOWET®(エコウエット)	省エネルギー型空調機	R-Second Sight®(アールセカンドサイト)	消費エネルギーの「見える化」サービス
RECODRYII(レコドライ)	超低湿度室の省エネルギーシステム	ソーラーチムニー/地中ピット	自然換気・空調装置
TECBEAMS®(テックビームス)	中央監視システムによる省力・省エネルギー化	気流可視化・シミュレーション	気流シミュレーションに基づく最適な空調設計
REAFS(リーフス)	ドラフトチャンバーの省エネルギーシステム	smartSOLAVICE(スマートソラビス)	クラウド型設備運用支援サービス



News!

熱風乾燥省エネシステムを開発いたしました。(特許出願中)

当社は、外気導入量の制御により、省エネ効果を発揮する熱風乾燥システムを開発いたしました。

熱風乾燥って何？

熱風乾燥とは、室内に高温に熱した空気を送り込むことにより、製品中の水分の蒸発を促進させて乾燥させる方法で、洗浄後の製品の乾燥や紙製品の製造または乾燥食品の水分除去工程などにおいて広く用いられています。しかし、熱風を発生させるためには、多くの電気や燃料を必要とするため、コスト・CO₂排出量の両面で効率化が求められています。

どうやって省エネ化するの？

本システムでの省エネのポイントは、次の2つです。

①熱風の温度を上げる。

空気に含ませることのできる水蒸気量は、気温の上昇とともに増加します。熱風の温度を上げると、加熱エネルギーは増加しますが、水分除去量も増加するので、外気(乾燥空気導入源)の導入量を減らすことが可能であり、全体に必要なエネルギーを削減することができます。

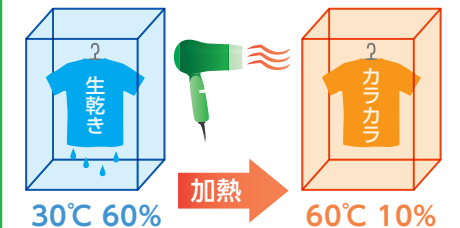
②外気の導入量を相対湿度(空気中の水蒸気量)に応じて制御する。

従来の乾燥システムでは、じめじめした夏の湿度条件に合わせて外気の導入量を一定にしており、他の季節では、加熱エネルギーが無駄が生じていました。そこで、排気の相対湿度が対象物の乾燥湿度となるように外気の導入量を制御することで、無駄な加熱エネルギーを削減することができます。また、この制御により年間を通して乾燥室内の湿度条件が一定となりますので、外気の状態によって生じていた過乾燥や乾燥不足といった問題も解決し、製品を安定して乾燥することができます。

当社は、本システムを用いて、お客様の省エネ・コスト削減に貢献してまいります。

POINT!

温度が高い方が水蒸気を多く含ませることができる。



密閉されたBOX内の水分量は同じ

連結貸借対照表の要旨

科目	前事業年度 平成25年3月31日	当事業年度 平成26年3月31日
(資産の部)		
流動資産	30,056	32,677
現金及び預金	10,485	9,740
受取手形・完成工事未収入金等	18,779	21,462
未成工事支出金等	186	182
その他	604	1,292
固定資産	11,850	12,530
有形固定資産	3,415	3,347
無形固定資産	942	686
投資その他の資産	7,492	8,496
資産合計	41,907	45,207

(単位:百万円)

科目	前事業年度 平成25年3月31日	当事業年度 平成26年3月31日
(負債の部)		
流動負債	16,285	17,864
支払手形・工事未払金等	13,471	15,624
未成工事受入金	960	594
その他	1,853	1,644
固定負債	834	1,508
負債合計	17,119	19,372
(純資産の部)		
株主資本	23,710	24,096
資本金	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498
利益剰余金	18,469	18,857
自己株式	△4	△6
その他の包括利益累計額	1,077	1,739
純資産合計	24,787	25,835
負債純資産合計	41,907	45,207

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前事業年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	当事業年度 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高	46,719	49,108
売上原価	41,376	42,607
売上総利益	5,342	6,500
販売費及び一般管理費	5,159	5,158
営業利益	183	1,342
営業外損益	193	165
経常利益	376	1,507
特別損益	38	40
税金等調整前当期純利益	415	1,547
法人税、住民税及び事業税	255	299
法人税等調整額	△2	585
少数株主損益調整前当期純利益	162	662
当期純利益	162	662

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前事業年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	当事業年度 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,010	△453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51	△344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△402	△92
現金及び現金同等物の増減額	556	△891
現金及び現金同等物期首残高	8,829	9,386
現金及び現金同等物期末残高	9,386	8,495

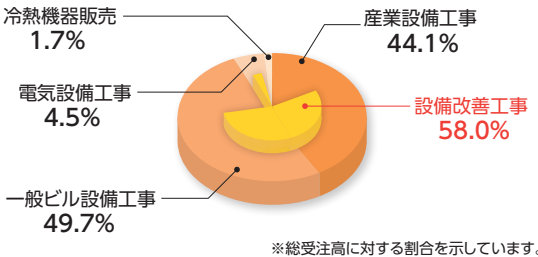
Point

売上総利益率

継続した原価低減の取組みにより、前事業年度と比較し、売上総利益率が改善しています。
(前々事業年度9.1%→前事業年度11.4%→当事業年度13.2%)

業績レポート

受注高構成比



産業設備関連事業

当期は、企業の生産活動の持ち直しに伴う設備投資に回復の兆しが見え始め、医療および食品分野を中心に受注は堅調に推移いたしました。

今後は、増加の兆しが見え始めた需要を取り込むべく、ライフサイクル一貫ソリューションビジネス体制の構築を推進してまいります。

一般ビル設備関連事業

当期は、官公庁からの受注が増加したことに加え、商業施設の受注も堅調に推移したため、受注高は前期と比べ、大幅に増加いたしました。

今後は、官庁工事を安定的に受注するための仕組みを構築するため、「総合評価落札方式」への取組みを継続してまいります。

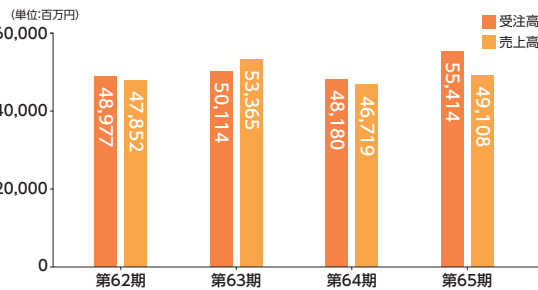
電気設備工事業

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。

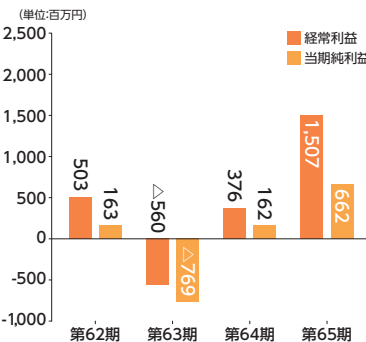
設備改善工事

施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。

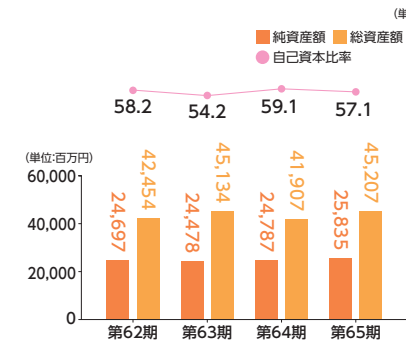
受注高・売上高



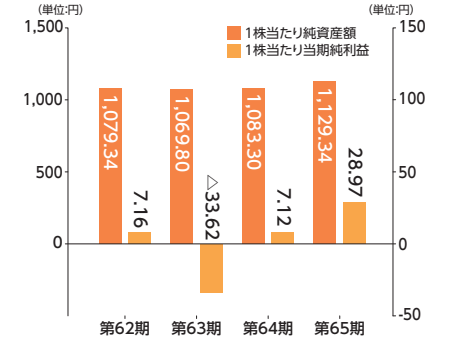
経常利益・当期純利益



純資産額・総資産額・自己資本比率



1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益



会社概要 (平成26年3月31日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設立 昭和24年12月23日
資本金 2,746,800,000円
上場 東京証券取引所市場第二部
従業員 644名 (連結741名)
本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地 東京都港区赤坂8丁目5番41号

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)
東京本店(東京都豊島区)
千葉支店(千葉県千葉市)
茨城支店(茨城県土浦市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)
東北支店(宮城県仙台市)
横浜支店(神奈川県横浜市)
名古屋支店(愛知県名古屋市)
静岡支店(静岡県静岡市)
大阪支店(大阪府大阪市)
中国支店(広島県広島市)※
九州支店(福岡県福岡市)
海外事業部(東京都豊島区)

※平成26年4月1日付で岡山県倉敷市に移転

役員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役社長	阿部 捷 司	取締役	松橋 秀 明	常勤監査役	永江 繁
専務取締役	黒田 英 彦	取締役	根岸 孝 雄	監査役(社外)	横山 真 次
専務取締役	堂垣内 重 晴	取締役	岡田 秀 司	監査役(社外)	林 健 一 郎
常務取締役	飯田 亮 輔	取締役	鈴木 孝		
常務取締役	知見 扶 公	取締役	若村 恒 夫		
取締役(社外)	楠本 馨	取締役	星野 宏 一		

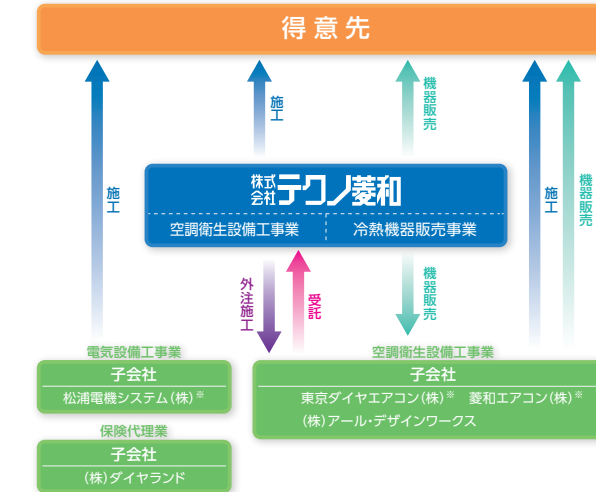
事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
清浄空間を必要とする各種製造工場や研究施設等における空調衛生設備工事を行っております。
- 一般ビル設備関連事業
事務所、学校および病院等の一般建物における空調衛生設備工事を行っております。
- 冷暖機器販売事業
設備工事に付帯する空調機などを販売しております。
- 電気設備工事業
松浦電機システム株式会社にて、電気設備工事を行っております。
- 保険代理事業
株式会社ダイヤランドにて、保険代理業を営んでおります。
- その他の事業
太陽光発電による電力を売電する事業を行っております。

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイヤエアコン株式会社*	株式会社アール・デザインワークス
所在地 東京都新宿区	所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社*	株式会社ダイヤランド
所在地 愛知県名古屋市	所在地 東京都港区
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 保険代理業
松浦電機システム株式会社*	
所在地 大阪府守口市	
主要な事業の内容 電気設備工事業	



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

ご優待品「特選茶」



株主アンケートのお願い

株主のみなさまのご意見を伺い、今後のIR活動の参考とさせていただきますため、株主アンケートを実施いたします。ご協力くださいますようお願いいたします。 ● 集計期間：平成26年7月31日到着分まで

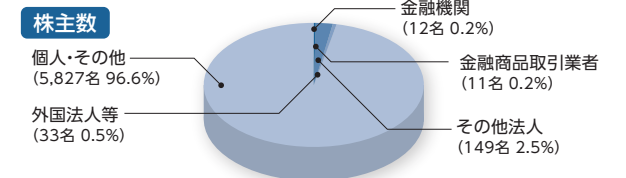
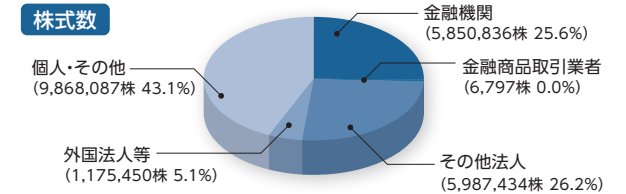
株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株
当期末現在の株主総数 6,032名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
テクノ菱和取引先持株会	2,198	9.6
三菱重工業株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	892	3.8
テクノ菱和従業員持株会	775	3.3
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1
近重 次郎	672	2.9

株式の分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数 100株

公告掲載URL <http://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き
お問い合わせ先

【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】

- 証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
- 特別口座に記録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。

【未受領の配当金について】
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙

FSC® C022915